

# 大学博物館等協議会シンポジウム

## 「ヴァーチャル・ミュージアムの現状と目指すもの」

Report of the Symposium for the Japanese Council of University Museum  
“Present and future of virtual museum”

大学博物館等協議会金沢大会 実行委員長（金沢大学資料館長） 奥野正幸

OKUNO, Masayuki

昨年（2015年）、金沢大学において金沢大学資料館が当番校となり、「大学博物館等協議会・博物館科学会」を開催いたしました。大学等博物館協議会は、大学博物館等が様々な情報を共有して、博物館活動の進展に寄与するための調査研究等を行い、協力して問題解決を図るために、平成10年に設立されました。今回の協議会を一つの転機と捉え、その重要な活動である、シンポジウム等の記録を講演者ならびに協議会のご協力をいただき、金沢大学資料館紀要に残すことにいたしました。今回のテーマ「ヴァーチャル・ミュージアムの現状と目指すもの」は、現在多くの館で直面している、多数の資料ならびにその詳細なデータの公開のための手段としてのヴァーチャル・ミュージアム、並びにデジタル・アーカイブスについて、講演とパネルディスカッションを通じて検討を加えたものです。本報告は、講演及びパネルディスカッションの内容を録音し、原稿として起こした詳細な講演内容であり、今後の博物館活動の一助になれば幸いに存じます。

平成28年3月1日

## 目 次

- |               |  |        |
|---------------|--|--------|
| 1、趣旨説明        | 実行委員長・金沢大学資料館長                                 | 奥野正幸   |
| 2、特別講演        | 「ヴァーチャル・ミュージアムの現状と目指すもの<br>～金沢大学を例として～」        |        |
|               | 金沢大学附属図書館長                                     | 古畑 徹   |
| 3、講演Ⅰ         | 「秋田大学における資源学教育の一例として<br>～バーチャル鉱山実習システムの開発と活用～」 |        |
|               | 秋田大学国際資源学部教授                                   | 安達 毅   |
| 4、講演Ⅱ         | 「演劇博物館デジタル・アーカイブの現状と課題」                        |        |
|               | 早稲田大学坪内博士記念演劇博物館長                              | 岡室 美奈子 |
| 5、パネルディスカッション |  |        |
| コメンテーター       | 金沢大学附属図書館長                                     | 古畑 徹   |
|               | 秋田大学国際資源学部教授                                   | 安達 毅   |
|               | 早稲田大学坪内博士記念演劇博物館長                              | 岡室 美奈子 |
|               | 合同会社AMANE                                      | 堀井 洋   |
| コーディネーター      | 金沢大学資料館長                                       | 奥野正幸   |